# 研究報告書表紙

# 厚生労働科学研究費補助金

障害者対策総合研究事業

エピジェネティクス解析に基づいた網膜硝子体疾患に対する病態解明と 発症予防および治療法の開発

平成24年度 総括研究報告書

研究代表者 三村 達哉

平成25 (2013) 年 4月

# 現態態をあずっては意味を目前網路からない裏には絶べてしてをしてける

I. 総括研究報告

エピジェネティクス解析に基づいた網膜硝子体疾患に対する病態解明と 発症予防および治療法の開発

三村」、達哉、多・同じの影響はある。ためしは多国にあずる関や態かでオスコのはボモネ AND の意

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

III. 研究成果の刊行物・別刷

養殖血魚運運産を化し受力を行ることでは必要を 経験権をしませらしません。
の必要はなななない。
・必要を必要といる。

他の作品を選出会。その後に対の「選挙機会と対してのできた。 は研究であり、運動機能、強い対域をとってしてのという。 所能は関係したをもでもほとできて、受ける、機能のでした。 いは、要確合性できるのはなず全身解解でした。、はつの 光れたと呼吸性である機はは角膜の外に延迟されて での関射に対して動物は、それをとして出した。」。 とことによって、過ぎまたという。

大事がら継続では、このでは他のでは、このでは、 をは、他のでは、というではは、現象には、他のでは、まじまで、 他の数を対し、というできなが、現象に、現象による。 というでは、このでは、後のでは、まるでは、ようでは、 様に動いなりでありませんでは、そのというというというでは、 線においては、そのでは、は、まないが、これをはないには、 線においては、そのでは、は、は、まといが、これを確し、これを確し、これを 選案では、最高経緯の著名は、大口区域を終しからたられる。 からために、接着 BM のお本以外に変化なりに適 としかも可強性に遺伝・接触に 節化な及便すて が悪らかになった立て ジェネー、クスの議点が 網膜暗音体展展となせとジェニー。 本験前の態 と弱くらしとを見回とする。特定は使のエビジェ と、クス要化しとそしている。 特定は使のエビジェ と、クス要化しとそしている。 体定は使のエビジェ と、クス要化しとそしている。 体定は使のエビジェ と、クス要化しとがしている。 体定は使いことと と、クス要化しとがしている。 ときまずること

総金をあり、総成金十字符集に対する自然が本下の子とととというにいいった。 イン・スティン との関係を指える。 作品の自然は特色無理設施、動物の情報に対したのでは、 智徳の のでは、 自然の は、 自然の は、

立権例は財政局、区前国のコカー・最近、中野党の関連を開発を開発を開発しません。 できる ローゴ a で関連に対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象に対象に対象に対象によった。

# I. 総括研究報告

# 厚生労働科学研究費補助金(再生医療実用化研究事業) (総括) 研究報告書

# エピジェネティクス解析に基づいた網膜硝子体疾患に対する病態解明と 発症予防および治療法の開発

研究代表者 三村達哉 東京女子医科大学東医療センター眼科学教室 講師

#### 研究要旨

エピジェネティクスとは、DNA の塩基配列の変化なしに、遺伝的しかも可逆的に遺伝子機能の発現が変化する 現象で、DNA メチル化やヒストン修飾が関与する。癌をはじめあらゆる疾患におけるエピジェネティクス異常 が、病態に関与し、診断や治療の標的となることが明らかになりつつあるが、感覚器疾患との関わりについて はまったく知られていない。本研究では、眼感覚器疾患の中で視機能に直接に影響を与える網膜硝子体疾患と エピジェネティクス異常の関係に焦点をあてて研究を行う。眼内での DNA、ヒストン、クロマチンのメチル化 異常を調べることにより、原因不明であった眼疾患の病態を明らかにするとともに、特定の部位のメチレイションを抑制することにより、疾患の予防および、治療をすることを最終目標とする。

### A. 研究目的:

本研究では、眼内組織の老化のメカニズムを明らかにするために、近年 DNA の塩基配列に変化なしに遺伝的しかも可逆的に遺伝子機能に変化を及ぼすことが明らかになったエピジェネティクスの観点から、網膜硝子体疾患とエピジェネティクス異常の関係を調べることを目的とする。特定部位のエピジェンティクス変化(メチレイション)を抑制することにより、疾患の予防および、治療をすることを最終目標とする。

# B. 研究方法:

### 研究計画および方法

本研究は眼感覚器の中心となる網膜視機能障害に 焦点をあて、網膜硝子体疾患における各種サイトカ インとエピジェネティクスとの関係を調べること を目的としている。研究の対象は糖尿病網膜症、網 膜静脈閉塞症、加齢性黄斑変性症に伴う黄斑浮腫な どに対し手術を施行した患者である。硝子体手術を 必要とする患者に同意を得たのち、前房水、硝子体 液、血液、内境界膜を採取する。硝子体手術を必要 とした黄斑円孔および黄斑上膜の症例をコントロ ールとする。

### I 研究デザイン

①症例対照研究、②前向きコホート研究、対象:黄斑浮腫患者、非黄斑浮腫患者(黄斑上膜、黄斑円孔)、症例数: criteria を満たす年間手術数は約160例で、そのうち年間100例を目標に研究にエントリーする。

(平成 23 年-24 年度) 研究開始 2 年間は患者のエントリーならびに術前術後の網膜視機能の評価、サンプルの採取を行う。以下に示すように視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、蛍光眼底造影、光干渉断層計、網膜感度検査および網膜電図などを行い、各種網脈絡膜疾患に伴う網膜視機能評価を行う。

### (平成 24-25 年度)

サンプルの採取およびサイトカイン濃度の測定

①症例対照研究黄斑浮腫患者群と非黄斑浮腫患者群との間における前房水、硝子体・血液中サイトカイン濃度、黄斑部血流速度の比較、組織学的研究、眼内液サイトカイン濃度およびと黄斑部血流速度との相関解析。測定候補サイトカインは VEGF, VEGF receptor-2 (VEGFR-2), Erythropoietin (EPO), ICAM-1, IL-6, PEDF, Vascular endothelial adhesion molecule-1 (VCAM-1), Monocyte chmoattractant protein-1 (MCP-1), Stromal-derived factor-1 (SDF-1)。

②前向きコホート研究治療介入(硝子体手術単独、抗 VEGF 抗体硝子体注射、TA 硝子体注射)症例において、 視力および黄斑部網膜厚を primary endpoint として、 黄斑部血流速度変化、眼内液サイトカイン濃度変化との 相関解析。エピジェネティクスの関係は次年度に行う。

### (倫理面への配慮)

すべての研究は虎の門病院、東京大学、東京女子医科大 学の倫理委員会の承認を得て行う。治療開発を前提とし た研究であり、動物実験、臨床試験を行う予定のため、 倫理委員会の指針、動物実験の対する指針、および研究 に関与するあらゆる倫理指針を遵守する。動物の取り扱 いは、苦痛を伴うものは必ず全身麻酔下に行い、両眼が 失われる可能性のある場合は片眼のみに処置を行う。全 ての実験において動物は the Association for Research in Vision and Ophthalmology の規約および、実験動物 の飼養及び保管等に関する基準(総理府)に従って扱う。 人を扱う研究では、ヘルシンキ宣言(世界医師会総会 World Medical Assembly)の勧告に従って行う。また遺 伝子解析はヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指 針(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)を遵守する。 具体的には以下のように行う。患者を対象とする臨床試 験においては十分な説明をした後、文書による同意を得 てから行う(インフォームド・コンセント)。

## C. 研究結果:

本年度は網膜硝子体疾患の患者の硝子体手術時に硝子体サンプルを採取し保存したサンプルを用いて、VEGF 濃度、IL-6 濃度、VEGF-R2 を測定し、それぞれ網膜浮腫の重症度との正の相関、ならびに手術後の視力予後に影響しうることを証明した。また、硝子体サンプルを用いて、疾患発症に関与する特異的メチル化部位を特定するために全遺伝子配列を次世代シークエンサーにより調べており、次年度に得られたデータを解析する予定である。

# D. 考察:

硝子体サンプル中のサイトカイン濃度と術後の視力 や網膜浮腫の重症度は相関することから、治療や硝子 体手術術後の予後予測に硝子体サンプル中の液性因 子濃度測定が有用であると考えられた。

# E. 結論

眼内硝子体サンプル中のサイトカイン濃度を測定することにより、術後や治療効果の判定ならびに、今後の予後予測にも有用であると考えられる。本年度から次年度への継続研究として、眼内硝子体サンプル中の、エピジェネティクス変化ならびに眼内老化との関わりについて、現在研究を行っている。

マノム解析による DNA メチル化プロフ

# F. 健康危険情報

本研究の結果により、健康に及ぼす危険事項は確認できなかった。

# G. 研究発表 WA OTHON 面 17 萬 新太陽三

- 1. 論文発表 2012 年以降英文 32 報
- Funatsu H, Noma H, Mimura T, Eguchi S. Vitreous inflammatory factors and macular oedema. Br J Ophthalmol. 2012;96(2):302-4
- 2. Mimura T, Mori M, Obata H, Usui T, Yamagami S, Funatsu H, Noma H, Amano S. Conjunctivochalasis: associations with pinguecula in a hospital-based study. Acta Ophthalmol. 2012;90(8):773-782.
- Mimura T, Obata H, Usui T, Mori M, Yamagami S, Funatsu H, Noma H, Amano S. Pinguecula and diabetes mellitus. Cornea. 2012;31(3):264-8.
- 4. Noma H, Funatsu H, Mimura T, Tatsugawa M, Shimada K, Eguchi S. Vitreous Inflammatory Factors and Serous Macular Detachment in Branch Retinal Vein Occlusion. Retina. 2012;32(1):86-91.
- Noma H, Funatsu H, Mimura T, Eguchi S, Shimada K. Inflammatory factors in major and macular branch retinal vein occlusion. Ophthalmologica. 2012;227(3):146-52
- Noma H, Funatsu H, Mimura T, Eguchi S. Vascular endothelial growth factor receptor-2 in macular oedema with retinal vein occlusion. Ophthalmic Res. 2012;48(1):56-58.
- 7. Mimura T, Nakashizuka T, Kami J, Kohmura M, Sato S, Dou K, Mori M. Bilateral choroidal detachment after cord blood stem cell transplantation in an adult patient with acute myeloid leukemia. Int Ophthalmol. 2012;32 (4):379-81

- 8. Noma H, Funatsu H, Mimura T, Shimada K. Functional-morphologicals schanges and after intravitreals linjection to of vertiamcinolone acetonide for macular edema with branch retinal veines occlusion. See J M Ocular Pharmacolom Ther. 2012;28(3):231-6.
- 9. Mimura T, Usui T, Yamagami S, Miyai T, Amano S. Relationship between total tear IgE and specific serum IgE in autumnal allergic conjunctivitis. Cornea. 2013;32(1):14-9
- 10. Mimura T. Bilateral eyelid erythema associated with false eyelash glue. Cutaneous and Ocular Toxicology 2013;32(1):89-90 200 2108
- 11. Mimura T, Usui T, Yamagami S, Miyai T, Amano S. Relation between Total Tear IgE and Severity of Acute Seasonal Allergic Conjunctivitis. Curr Eye Res. 2012;37(10):864-70.
- 12. Noma 2 H, on Funatsu Hassa Mimura Thum Pigment epithelium—derived factor is related to macular microcirculation in patients with macular edema students branch retinal 2 vein mocclusion. Interest Ophthalmol. 2012;32(5):485-9.
- 13. Noma H. Funatsu H. Mimura T. Shimada K. Macular sensitivity and morphology after cintravitreal injection of triamcinolone acetonide for macular dedema with branch retinal vein occlusion. Retina.
- 14. Noma H, Funatsu H, Mimura T, Shimada K. Perifoveal Microcirculation in Macular Oedema with Retinal Vein Occlusion. Open Ophthalmol J. 2012;6:63-64.
- 15.5 Noma H. Mimura T. Eguchi S. Association of the inflammatory factors with macular edema in branch retinal vein occlusion. 225JAMA: Ophthalmol. Brack 2013;131(2):160-5.mol 2 imagency Tanumi M OS
- 16. Noma H. Funatsu H. Mimura T. Shimada K. Comparison of the efficacy of intravitreal triamcinolone acetonide for cystoid macular edema with versus without serous cretinal detachment in branch retinal yein occlusion: influence on macular sensitivity and morphology. BMC Ophthalmol. 2012;12(1):39.
- 17. Noma H, Mimura T, Shimada KT-Retinal function and morphology in central retinal vein occlusion with macular oedema. Curr Eye Res. 2013;38(1):143-9.
- 18 Noma H. Funatsu H. Mimura T. Association of electroretinographic parameters and inflammatory factors in branch retinal vein occlusion with macular oedema. Br J Ophthalmol. 2012;96(12):1489-93.
- "Mimura T, Noma H, Funatsu H. Development of surgical treatment for vitreous disease. Surgical Science 2012;3 (11):507-513
- 20. Mimura T, Yokoo S, Yamagami S. Tissue engineering of corneal endothelium. J. Funct. Biomater. 2012, 3(4), 726-744
- Mimura T, Yamazaki K. Use of the femtosecond laser for cataract surgery with intraocular lens implantation. J Transplant Technol Res 2012, 2:e116

- 22. Noma H, Mimura T. Macular sensitivity and morphology after intravitreal injection of triamcinolone acetonide for macular edema secondary to central retinal vein occlusion. Clin Ophthalmol. 2012;6:1901-6.
- 23. Noma H, Shimada K, Mimura T. Foveal Sensitivity and Morphology in Major and Macular Branch Retinal Vein Occlusion. Open Ophthalmol J. 2012;6:104-9.
- 24. Noma H, Funatsu H, Mimura T. Changes of inflammatory factors after intravitreal triamcinolone acetonide for macular edema with central retinal vein occlusion. J Ocul Pharmacol Ther. 2012 Oct 9.
- 25. Noma H, Shimada K, Mimura T. Visual function after pars plana vitrectomy in macular edema with branch retinal vein occlusion. Int Ophthalmol. 2012 Nov 19.
- 26. Mimura T, MYamagami S, Mamano S. M Corneal Endothelial Regeneration and Tissue Engineering.

  Prog Retin Eye Res. 2013 Jan 23.00 Magazine.
- 27. Noma H, Mimura T, Shimada K. Changes of macular sensitivity and morphology after pars plana vitrectomy for macular edema with central retinal vein occlusion: a case series. BMC Ophthalmol. 2013 Feb 5:13(1):2.
- Mimura T, Yamagami S, Kamei Y, Goto M, Kondo A, Matsubara M. Measurement of Specific Tear IgE With ImmunoGAP Rapid. Journal of Investigational Allergology and Clinical Immunology in press.
- 29. Mimura T, Noma H, Funatsu H. Epigenetic regulation of retinal stem cells. International Journal of Stem Cell Research and Transplantation (IJST) in press.
- 30. Mimura T, Yamagami S, Kamei Y, Goto M, Matsubara M. Influence of axial length on conjunctivochalasis. Cornea in press
- 31. Noma H, Funatsu H, Shimada K, Mimura T. Influence of pars plana vitrectomy on macular sensitivity and morphology in patients with branch retinal vein occlusion and serous retinal detachment. Ophthalmic Surg Lasers Imaging Retina. 2013;44(2):160-7.
- 32. Noma H, Shimada K, Mimura T. Influence of retinal ischemia on macular function after pars plana vitrectomy for macular edema with branch retinal vein occlusion. Int Ophthalmol. 2013 Mar 29.

### 2. 学会発表·招待講演

- 1. 三村達哉、山上聡、臼井智彦、宮井尊史、天野史郎 イムノ キャップラピッドを用いた涙液中特異的 lgE と皮膚プリックテストの比較、第 116 回日本眼科学会総会、東京、東京国際フォーラム、2012 年 4 月 5 日
- 2. 三村達哉、亀井裕子、五嶋摩理、近藤亜紀、松原正男 ア レ ル ギー性結膜炎患者涙液中の小麦特異的 IgE 第66 回日本臨床眼 科学会、京都 国立京都国際会館・グランドプリンスホテル京 都、2012 年 10 月 25 日
- 3. 三村達哉 細隙灯顕微鏡所見を正確にとるための解剖学・生理 学 角結膜疾患診療ナビ 学術講演会、東京、東京ステーショ ンホテル「陽光」、2012 年 11 月 7 日
- 4. 三村達哉 涙液中特異的 IgE と皮膚プリックテストの関係 第78回東京女子医大 東医療センター 眼科医局講演会 東京、東京女子医科大学東医療センター、大会議室、2012 年11月17日
- 5. 五嶋摩理、大熊博子、近藤亜紀、三村達哉、松原正男 ブ ジ ー による結石可動化が結石排出に有効であった強固な鼻涙管結石 の 1 例、第 36 回日本眼科手術学会総会 福岡、福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡、2013 年 1 月 25 日
- 6. 三村達哉、中川卓、山上聡、天野史郎 ヒト角膜内皮細胞の全 ゲノム解析による DNA メチル化プロファイル、角膜カンファラ ンス 2013 第 37 回日本角膜学会総会 第 29 回日本角膜移植学 会、和歌山県 南紀白浜、2013 年 2 月 14 日
- 7. Tatsuya Mimura, Satoru Yamagami, Tomohiko Usui, Takashi Miyai, Shiro Amano Specific Tear IgE in Seasonal Allergic Conjunctivitis with ImmunoCAP Rapid The Assosiation for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida, USA, Greater Fort Lauderdale/Broward County Convention Center, 2012年5月6日

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

- 2. 実用新案登録 なし
- 3. その他・賞罰

平成24年4月 三村達哉 第17回 ROHTO AWARD

# 研究成果の刊行に関する一覧表

# 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ	
	euls AMA appirus Al cours	編集者名	namellal to estimoss		P Han	i l'amai		
なし			ng re deaper on consecution (2012). Feel	,	,		f	
7105	AT-ELS RE. 38 VEE-TA		rom tilio milion i hansk nt dliva aoniolosa mek		A licens	el fanurai		
	red Ocal Pharmack? 363-33 wrot and	for bilicular Clema	transport of inflammatory of the sections of t		Langus	<u>II</u> Hran		
	I Bl w. 18 (see Excepted & teel out	managar surfer s	sa satu noir nut busi		T equati	V 22 etc.ord	R H moZ	

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Funatsu H, Noma H, Mimura T, Eguchi S.	Vitreous inflammatory factors and macular oed ema.	Br J Ophthalmo	96	302-304	2012
Mimura T, Mori M, Obata H, Usui T, Yamagam S, Funatsu H, Noma H, Amano S.	Conjunctivochalasis: associations with pinguecula in a hospital-based study.	Acta Ophthalmol	90	773-782	2012
Mimura T, Obata H, Usui T, Mori M, Yamagam S, Funatsu H, Noma H, Amano S.	Pinguecula and diabetes mellitus.	Cornea	31	264-268	2012
	Vitreous Inflammatory Factors and Serous Macular Detachment in Branch Retinal Vein Occlusion.	Retin	32	86-91	2012
Noma H, Funatsu H, Mimura T, Eguchin S Shimada K.	Inflammatory factors in major and macular bran	Ophthalmologica	227	146-152	2012 Fauant/
Noma H, Funatsu H, Mimura T, Eguchi S.	Vascular endothelial growth factor receptor-2 in macular oedema with retinal vein occlusion.	Ophthalmic Res	48	56-58	2012
Mimura T, Nakashizuka T, Kami J, Kohmura M Sato S, Dou K, Mori M.	Bilateral choroidal detachment after cord blood stem cell transplantation in an adult patient wit h acute myeloid leukemia.		32	379-381	2012
Noma H, Funatsu H, Mimura T, Shimada K.	Functional-morphological changes after intravitre al injection of triamcinolone acetonide for macu lar edema with branch retinal vein occlusion.		28	231-236	2012
Mimura T, Usui T, Yamagami S, Miyai T, Amand S.	Relation between Total Tear IgE and Severity of Acute Seasonal Allergic Conjunctivitis.	Curr Eye Res	37	864-870	2012
Noma H, Funatsu H, <u>Mimura T</u> .	Pigment epithelium-derived factor is related to macular microcirculation in patients with macula r edema and branch retinal vein occlusion.		32	485-489	2012
Noma H, Funatsu H, <u>Mimura T</u> , Shimada K.	Macular sensitivity and morphology after intravitreal injection of triamcinolone acetonide for macular edema with branch retinal vein occlusion.		32	1844-1852	2012
Noma H, Funatsu H, <u>Mimura T</u> , Shimada K.	Perifoveal Microcirculation in Macular Oedema with Retinal Vein Occlusion.	Open Ophthalmo	6	63-64	2012
Noma H, Funatsu H, <u>Mimura T</u> , Shimada K.	Comparison of the efficacy of intravitreal triam cinolone acetonide for cystoid macular edema with versus without serous retinal detachment in branch retinal vein occlusion: influence on macular sensitivity and morphology.	1	12	39	2012
Noma H, Funatsu H, <u>Mimura T</u> .	Association of electroretinographic parameters a nd inflammatory factors in branch retinal vein occlusion with macular oedema.	Br J Ophthalmol	96	1489-1493	2012
Mimura T, Noma H, Funatsu H.	Development of surgical treatment for vitreous disease.	Surgical Science	3	507-551	2012
Mimura T, Yokoo S, Yamagami S.	Tissue engineering of corneal endothelium.	J Funct Biomate	3	726-744	2012
Mimura T, Yamazaki K.	Use of the femtosecond laser for cataract surger y with intraocular lens implantation.	J Transplant Tec hnol Res	2	e116	2012
Noma H, <u>Mimura T</u> .	Macular sensitivity and morphology after intravi- treal injection of triamcinolone acetonide for ma cular edema secondary to central retinal vein oc- clusion.	-	6	1901-1906	

# 研究成果の刊行に関する一覧表 (続き)

Noma H, Shimada K, Mimura T.	Foveal Sensitivity and Morphology in Major an Oped Macular Branch Retinal Vein Occlusion.	en Ophthalmo	6	104-109	2012
Mimura T, Usui T, Yamagami S, Miyai T, Amano S.	Relationship between total tear IgE and specific Conserum IgE in autumnal allergic conjunctivitis.	rnea	32	14-19	2013
Mimura T.	Bilateral eyelid erythema associated with false e Cut yelash glue.		32	89-90	2013
Noma H, <u>Mimura T</u> , Eguchi S.	Association of inflammatory factors with macul JAI ar edema in branch retinal vein occlusion. JAM mol A Ophthalmol. 2013 Feb 1;131(2):160-5.		131	160-165	2013
Noma H, <u>Mimura T</u> , Shimada K.	Retinal function and morphology in central retin Cur al vein occlusion with macular oedema.	rr Eye Res	38	143-149	2013
Noma H, Funatsu H, <u>Mimura T</u> .	Changes of inflammatory factors after intravitrea J C i triamcinolone acetonide for macular edema will the central retinal vein occlusion.		29	363-365	
Noma H, Shimada K, <u>Mimura T</u> .	Visual function after pars plana vitrectomy in Int macular edema with branch retinal vein occlusion.	Ophthalmol	Nov 19	In press	2013
Mimura T, Yamagami S, Amano S.	Mimura T, Yamagami S, Amano S. Corneal En Prodothelial Regeneration and Tissue Engineering Res		Jan 23.	In press	2013
Noma H, <u>Mimura T</u> , Shimada K.	Changes of macular sensitivity and morphology BM after pars plana vitrectomy for macular edemal with central retinal vein occlusion: a case series.		13°	12 	2013°
Mimura T, Yamagami S, Kamei Y, Goto M Kondo A, Matsubara M.	Measurement of Specific Tear IgE With Immun J In oCAP Rapid. Journal of Investigational Allergol ogy and Clinical Immunology in press.	nvestig Allerg Clin Immunol	ar agu ety NA 11 dae	In press	
Mimura T, Noma H, Funatsu H.	Epigenetic regulation of retinal stem cells. Internal regulation of retinal stem cells.	ernational Jou I of Stem Ce Research and Insplantation	annett	In press	H bask) Enterniz
Mimura T, Yamagami S, Kamei Y, Goto M. Matsubara M.	Influence of axial length on conjunctivochalasis. Cor	rnea Zuhanza	. 4 18.7	In press	attenimiet Et optove
Noma H, Funatsu H, Shimada K, Mimura T.	Influence of pars plana vitrectomy on macular s Oplensitivity and morphology in patients with bran ch retinal vein occlusion and serous retinal deta Rechment.	asers Imaging etina		160-167	2013
Noma H, Shimada K, <u>Mimura T</u> .	Influence of retinal ischemia on macular functio Int n after pars plana vitrectomy for macular edem a with branch retinal vein occlusion.	Ophthalmol	Mar 29	in press	2013

# III. 研究成果の刊行物・別刷

# 代表論文の1報のみ添付する

# CLINICAL SCIENCES

# Association of Inflammatory Factors With Macular Edema in Branch Retinal Vein Occlusion

Hidetaka Noma, MD; Tatsuya Mimura, MD; Shuichiro Eguchi, MD

**Objective:** To evaluate the association between vitreous fluid levels of inflammatory factors and macular edema in patients with branch retinal vein occlusion (BRVO).

**Methods:** In 39 patients with BRVO and macular edema and 21 individuals with idiopathic macular hole (MH) serving as controls, vitreous fluid samples were obtained during vitreoretinal surgery, and the levels of vascular endothelial growth factor (VEGF), soluble VEGF receptor 2 (sVEGFR-2), soluble intercellular adhesion molecule 1 (sICAM-1), interleukin 6 (IL-6), monocyte chemotactic protein 1 (MCP-1), pentraxin 3 (PTX3), and pigment epithelium-derived factor (PEDF) were measured by enzymelinked immunosorbent assay. Macular edema was examined by optical coherence tomography.

**Results:** Vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 were significantly

higher in the patients with BRVO than in those with MH; however, the PEDF level was significantly lower in the BRVO group. Vitreous fluid levels of all 7 factors were significantly correlated with the retinal thickness at the central fovea. There were also significant correlations of sVEGFR-2 with sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 but no correlation with VEGF. However, there were significant correlations of VEGF with sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PEDF in the BRVO group.

**Conclusions:** Vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, PTX3, and PEDF are strongly correlated with retinal vascular permeability and the severity of macular edema in patients with BRVO. These findings may be useful for understanding macular edema and developing new treatments for BRVO.

JAMA Ophthalmol. 2013;131(2):160-165

# Association of Inflammatory Factors With Macular Edema in Branch Retinal Vein Occlusion

Hidetaka Noma, MD; Tatsuya Mimura, MD; Shuichiro Eguchi, MD

**Objective:** To evaluate the association between vitreous fluid levels of inflammatory factors and macular edema in patients with branch retinal vein occlusion (BRVO).

**Methods:** In 39 patients with BRVO and macular edema and 21 individuals with idiopathic macular hole (MH) serving as controls, vitreous fluid samples were obtained during vitreoretinal surgery, and the levels of vascular endothelial growth factor (VEGF), soluble VEGF receptor 2 (sVEGFR-2), soluble intercellular adhesion molecule 1 (sICAM-1), interleukin 6 (IL-6), monocyte chemotactic protein 1 (MCP-1), pentraxin 3 (PTX3), and pigment epithelium-derived factor (PEDF) were measured by enzymelinked immunosorbent assay. Macular edema was examined by optical coherence tomography.

Results: Vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 were significantly

higher in the patients with BRVO than in those with MH; however, the PEDF level was significantly lower in the BRVO group. Vitreous fluid levels of all 7 factors were significantly correlated with the retinal thickness at the central fovea. There were also significant correlations of sVEGFR-2 with sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 but no correlation with VEGF. However, there were significant correlations of VEGF with sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PEDF in the BRVO group.

**Conclusions:** Vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, PTX3, and PEDF are strongly correlated with retinal vascular permeability and the severity of macular edema in patients with BRVO. These findings may be useful for understanding macular edema and developing new treatments for BRVO.

JAMA Ophthalmol. 2013;131(2):160-165

RANCH RETINAL VEIN OCCLUsion (BRVO) often results in macular edema, which is the chief cause of visual impairment in patients with BRVO. Although the pathogenesis of macular edema in these patients is unclear, retinal changes due to BRVO (including hemorrhage) are known to cause local inflammation. After retinal vein occlusion, there is increased rolling and adhesion of leukocytes to the retinal vein walls that lead to stagnation of blood flow,1 so inflammation may play a key role in the pathogenesis of BRVO. The role of inflammation is supported by reports that intravitreal injection of triamcinolone acetonide lessens macular edema in patients with BRVO2 and that the aqueous flare value is significantly higher in patients with retinal vein occlusion than in healthy individuals.3

Various molecules that are secreted into the vitreous fluid may be associated with ocular abnormalities, although the vitreous levels of soluble inflammatory factors might not necessarily reflect their tissue levels, especially the amounts in the retinal microenvironment. However, the concentrations of soluble factors secreted into the vitreous fluid have been reported<sup>4</sup> to influence visual prognosis. There is evidence that

upregulation of inflammatory factors, including vascular endothelial growth factor (VEGF), VEGF receptor 2 (VEGFR-2), intercellular adhesion molecule 1 (ICAM-1), interleukin 6 (IL-6), and monocyte chemotactic protein 1 (MCP-1), or downregulation of anti-inflammatory factors, such as pigment epithelium-derived factor (PEDF), and a subsequent increase in leukocyteendothelial interactions contribute to breakdown of the blood-retinal barrier (BRB).5-7 The levels of VEGF, IL-6, soluble ICAM-1 (sICAM-1), soluble VEGFR-2 (sVEGFR-2), and PEDF in the vitreous fluid are independently related to vascular permeability in patients with BRVO and macular edema.8-10 Blocking the actions of inflammatory factors has been shown<sup>5</sup> to prevent leukostasis and an increase in retinal vascular permeability in rats, and development of macular edema in patients with BRVO has been reported7,11 to be accompanied by elevation of cytokines that regulate the inflammatory response. Thus, various inflammatory cytokines and other factors influence vascular permeability in the eye and are associated with macular edema in patients with BRVO.

Recently, long pentraxin 3 (PTX3) was reported to be an early indicator of myocardial infarction<sup>12</sup> and a predictor of

Author Affiliations:
Departments of Ophthalmology,
Yachiyo Medical Center
(Dr Noma) and Medical Center
East (Dr Mimura), Tokyo
Women's Medical University,
Tokyo, and Eguchi Eye
Hospital, Hakodate
(Dr Eguchi), Japan.

3-month mortality after acute myocardial events. 13 Long pentraxin 3 is an acute-phase protein that is involved in innate immunity and inflammation. Pentraxins are a family of acute response proteins comprising 3 members-Creactive protein, serum amyloid P, and PTX3-and these proteins are classic acute-phase reactants that closely reflect the level of inflammatory activity. 14,15 Long pentraxin 3 is induced by cytokines and is produced mainly by vascular endothelial cells, fibroblasts, and cells in some other extrahepatic tissues, 14,16-20 unlike the other 2 family members that are synthesized primarily in the liver. 21,22 In an animal model, there was a rapid increase in PTX3 expression after reperfusion of the ischemic superior mesenteric artery territory.<sup>23</sup> More important, overexpression of PTX3 was accompanied by an increase in death and tissue damage after intestinal ischemia and reperfusion.23 In addition, PTX3 increases vascular permeability.24 These findings suggest that PTX3 may play an important role in the pathogenesis of macular edema associated with BRVO. However, the level of PTX3 expression in patients with BRVO and its relationship to the pathogenesis of macular edema are unclear, just as the relative contribution of each of the molecules evaluated herein to the development of macular edema remains uncertain. Accordingly, we measured the vitreous fluid levels of 6 inflammatory factors (including PTX3) and 1 anti-inflammatory factor in patients with BRVO and macular edema, focusing on molecules that have been linked to the onset or exacerbation of this condition. The association between each of these molecules and the severity of macular edema was then assessed.

### **METHODS**

## **PARTICIPANTS**

Undiluted vitreous fluid samples were harvested at the start of pars plana vitrectomy (PPV) after written informed consent was obtained from each participant following an explanation of the purpose and potential adverse effects of the procedure. This study was performed in accordance with the Helsinki Declaration of 1975 (1983 revision). The institutional review boards of Tokyo Women's Medical University and Eguchi Eye Hospital approved the protocol for collection and testing of vitreous fluid and blood samples. This was a retrospective case-control study of 60 Japanese patients who underwent PPV in 1 eye (39 with BRVO and 21 with idiopathic macular hole [MH]) to treat macular edema. Seventy-two consecutive patients with BRVO who sought care at the hospitals associated with Tokyo Women's Medical University or Eguchi Eye Hospital between August 11, 2009, and November 15, 2011, were screened, using the criteria listed in the next sentence, and vitreous fluid samples were obtained from the 39 patients enrolled. The indications for PPV were (1) clinically detectable diffuse macular edema or cystoid macular edema persisting for more than 3 months and (2) best-corrected visual acuity worse than 20/40.

The Branch Vein Occlusion Study<sup>25</sup> demonstrated the effectiveness of argon laser photocoagulation for BRVO, but it was recommended that this should not be performed within 3 months of occurrence, during which time spontaneous improvement may occur. The absence of posterior vitreous detachment can contribute to persistent macular edema in patients with retinal vascular occlusion.26 Saika et al27 reported on the effectiveness of PPV combined with surgical posterior vitreous detachment for macular edema in patients with BRVO.

Table 1. Clinical and Laboratory Characteristics of the BRVO and MH Groups

Variable 1957 Ange	BRV0 Group	MH Group	P Value
No. of participants a	39	21	
Sex, No.			.66
Female Female	20	12	
Male	19	9	
Age, mean (SD), y	69.2 (9.6)	68.8 (8.4)	.88
Blood pressure, mean (SD), mm Hg			
Systolic Sys	134 (14)	121 (11)	<.001
Diastolic	78 (8)	74 (8)	.07
Hypertension, No.	22	3	.002
Hyperlipidemia, No.	12	4	.33
Duration of BRVO, mean (SD), mo	5.1 (2.4)	a Of al sa	

Abbreviations: BRVO, branch retinal vein occlusion; ellipsis, not applicable; MH, macular hole. a Number of participants with data.

It has also been reported28,29 that PPV contributes to an increase in oxygen tension in the inner retina. If retinal oxygen tension increases after PPV, macular edema would be lessened for several reasons. First, an increase in oxygen tension would reduce VEGF production and thus decrease vascular permeability. Second, an increase in oxygen tension would alleviate autoregulatory arteriolar vasoconstriction and thus reduce the hydrostatic pressure in the retinal capillaries and venules. This would decrease water flux from the vascular compartment to the tissue compartment and reduce edema according to the Starling law. Finally, PPV reduces the intraocular levels of various other inflammatory factors in addition to VEGF,30 and this may be another mechanism by which it alleviates macular edema in patients with BRVO. In fact, it has been reported31,32 that PPV improves both functional and tomographic outcomes in patients with BRVO and macular edema. Accordingly, we performed PPV in patients with clinically detectable diffuse macular edema or cystoid macular edema more than 3 months after the onset of BRVO.

Thirty-three of the 72 patients were excluded because of previous ocular surgery or intravitreous injection of anti-VEGF agents or triamcinolone acetonide in 23 patients, diabetic retinopathy in 2 patients, previous retinal photocoagulation in 7 patients, and a history of ocular inflammation or vitreoretinal disease in 1 patient. Patients with intravitreous injection of anti-VEGF agents or triamcinolone acetonide were excluded because such treatment could influence vitreous fluid levels of inflammatory factors. Vitreous fluid samples were also obtained from 21 patients with nonischemic ocular diseases as a control group (MH group). None of the patients in the MH group had proliferative vitreoretinopathy. The mean (SD) age of the BRVO group (19 men and 20 women) was 69.2 (9.6) years, and the control group (9 men and 12 women) was aged 68.8 (8.4) years. The mean duration of BRVO was 5.1 (2.4) months (range, 3-11 months). Clinical and laboratory characteristics of the BRVO and MH groups are shown in Table 1.

### **FUNDUS FINDINGS**

Both preoperative and operative fundus findings were recorded for each participant. A masked grader (H.N.) independently assessed ischemic retinal vascular occlusion by examining fluorescein angiograms. The ischemic region of the retina was measured with the public domain Scion Image program (Scion Corp), as reported previously.8-10 On digital fundus pho-

Table 2. Vitreous Fluid Levels of Factors in the Groups

	Median (Interq	uartile Range)	
Variable	BRVO Group	MH Group	P Value
sVEGFR-2, pg/mL	1500 (1083-2035)	1020 (721-1343)	.002
VEGF, pg/mL	229 (33.9-1353)	15.6 (15.6-31.2)	<.001
sICAM-1, ng/mL	8.20 (5.33-15.6)	4.50 (3.60-5.65)	<.001
IL-6, pg/mL	10.7 (5.53-29.0)	1.00 (0.50-1.18)	<.001
MCP-1, pg/L	1190 (747-1993)	458 (375-636)	<.001
PTX3, ng/mL	0.86 (0.50-1.62)	0.50 (0.50-0.81)	.01
PEDF, ng/mL	25.6 (8.14-40.7)	59.9 (25.0-101)	.005

Abbreviations: BRVO, branch retinal vein occlusion; IL-6, interleukin 6; MCP-1, monocyte chemotactic protein 1; MH, macular hole; PEDF, pigment epithelium-derived factor; PTX3, pentraxin 3; sICAM-1, soluble intercellular adhesion molecule 1; sVEGFR-2, soluble vascular endothelial growth factor (VEGF) receptor 2.

tographs, the disc area was outlined with a cursor and then measured, and the same was done for the nonperfused area. The severity of retinal ischemia was assessed as the nonperfused area divided by the disc area.

Optical coherence tomography was performed in each participant within 1 week before PPV (Zeiss-Humphrey Ophthalmic Systems). The thickness of the central fovea was defined as the distance between the inner limiting membrane and the retinal pigment epithelium (including any serous retinal detachment) and was automatically measured by computer software (Zeiss-Humphrey Ophthalmic System). The thickness of the neurosensory retina was defined as the distance between the inner and outer neurosensory retinal surfaces, <sup>26</sup> and the severity of macular edema was graded from the measured retinal thickness

# SAMPLE COLLECTION A DORASTORI SO

Samples of undiluted vitreous fluid (0.5-1.0 mL) were collected at the start of PPV by aspiration into a 1-mL syringe attached to the vitreous cutter before the intravitreal infusion of balanced salt solution was begun. The vitreous samples were immediately transferred into sterile tubes and were rapidly frozen at  $-80^{\circ}\text{C}$ . Blood samples were collected simultaneously and were centrifuged at 3000g for 5 minutes to obtain plasma, after which aliquots were stored at  $-80^{\circ}\text{C}$  until assays were performed.

# MEASUREMENT OF INFLAMMATORY AND ANTI-INFLAMMATORY FACTORS

The levels of VEGF, sVEGFR-2, sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 were measured in vitreous samples from the same eye and in plasma samples by enzyme-linked immunosorbent assay, using kits for human VEGF, sVEGFR-2, IL-6, MCP-1, and PTX3 (R&rD Systems); sICAM-1 (Bender Med Systems); and PTX3 (Perseus Proteomics Inc.). 8,10,33 Similarly, levels of anti-inflammatory PEDF were measured in vitreous samples with a human PEDF sandwich enzyme-linked immunosorbent assay kit (Chemicon International). The VEGF kit was able to detect 2 of the 4 VEGF isoforms (VEGF<sub>121</sub> and VEGF<sub>165</sub>), probably because these 2 shorter isoforms are secreted and the 2 longer isoforms are cell associated. Each assay was performed according to the manufacturer's instructions.

Table 3. Correlation of Vitreous Factors
With the Nonperfused Area and Retinal Thickness

	Nonperfi	ised Area	Retinal Thickness		
Variable	r	P Value	r	P Value	
sVEGFR-2	0.19	.25	0.36	.02	
VEGF	0.77	<.001	0.47	.003	
sICAM-1	0.36	.02	0.56	<.001	
IL-6	0.46	.004	0.41	.01	
MCP-1	0.52	.001	0.63	<.001	
PTX3	0.37	.02	0.39	.02	
PEDF	-0.39	.02	-0.36	.02	

Abbreviations: See Table 2; r, correlation coefficient.

#### on rough is a STATISTICAL ANALYSIS of a fill who be in

Analyses were performed with commercial software (SAS, version 9.1; SAS Institute Inc). A t test was used to compare normally distributed unpaired continuous variables between the 2 groups, and the Mann-Whitney test was used for variables with a skewed distribution. The  $\chi^2$  test or Fisher exact test was used to compare discrete variables. Differences between the median plasma and vitreous levels were assessed with the Wilcoxon single rank test. To examine relationships among the variables, Spearman rank order correlation coefficients or Pearson correlation coefficients were calculated. Statistical significance was set at P < .05, with 2-tailed values.

#### RESULTS

The vitreous fluid concentration of sVEGFR-2 (median [interquartile range]) was significantly higher in the BRVO group (1500 pg/mL [1083-2035]) than in the MH group (1020 pg/mL [721-1343]; P = .002) (**Table 2**). The vitreous fluid concentration of VEGF was significantly higher in the BRVO group (229 pg/mL [33.9-1353]) compared with the MH group (15.6 pg/mL [15.6-31.2]; P < .001) (Table 2). Likewise, vitreous sICAM-1 levels were significantly higher in the BRVO group (8.20 ng/mL [5.33-15.6]) than in the MH group (4.50 ng/mL [3.60-5.65]; P < .001) (Table 2). Furthermore, the vitreous level of IL-6 was significantly higher in the BRVO group (10.7 pg/mL [5.53-29.0]) than in the MH group (1.00 pg/mL [0.50-1.18]; P < .001), as was the vitreous level of MCP-1 (1190 pg/mL [747-1993] vs 458 pg/mL [375-636]; P < .001) and the vitreous level of PTX3 (0.86 ng/mL [0.50-1.62] vs 0.50 ng/mL [0.50-[0.81]; P = .01) (Table 2). In contrast, the vitreous fluid level of PEDF was significantly lower in the BRVO group (25.6 ng/mL [8.14-40.7]) than in the MH group (59.9 ng/mL [25.0-101]; P = .005) (Table 2).

Vitreous fluid levels of VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 were significantly correlated with the nonperfused area of the retina in the BRVO group (r = 0.77, P < .001; r = 0.36, P = .02; r = 0.46, P = .004; r = 0.52, P = .001; and r = 0.37, P = .02, respectively) (**Table 3**). Conversely, the vitreous fluid level of PEDF showed a significant negative correlation with the nonperfused area in the BRVO group (r = -0.39, P = .02) (Table 3). However, the vitreous fluid level of sVEGFR-2 was not significantly correlated with the nonperfused area in this group (r = 0.19, P = .25) (Table 3).

sVEGFR-2	EGFR-2 VEGF		sICAM-1		IL-6		MCP-11 elima	PEDF		
r P Value	r	P Value	$\overline{r}$	P Value	r	P Value	r P Value	r P Value	7	P Value
	0.14	.38	0.76	<.001	0.63	<.001	0.69 <.001	0.66 <.001	-0.12	.44
			0.34	.03	0.41	.01	0.46 .004	0.23 .19	-0.33	.04
					0.63	<.001	0.66 <.001	0.64 <.001	0.03	.87
							0.70 <.001	0.65 <.001	-0.10	.52
								0.53 <.001	-0.39	.02
									0.04	.82
	P Value	r P Value r 0.14	r P Value r P Value 0.14 .38	r         P Value         r         P Value         r           0.14         .38         0.76           0.34	r         P Value         r         P Value         r         P Value           0.14         .38         0.76         <.001	r         P Value         r         P Value         r         P Value         r           0.14         .38         0.76         <.001	r         P Value         r         P Value         r         P Value           0.14         .38         0.76         <.001	r         P Value           0.14         .38         0.76         <.001	r         P Value           0.14         .38         0.76         <.001	r         P Value         r         P Value <th< td=""></th<>

Abbreviations: See Table 2: r. correlation coefficient.

Vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, PTX3, and PEDF were significantly correlated with the retinal thickness at the central fovea according to simple linear regression analysis (r = 0.36, P = .02; r = 0.47, P = .003; r = 0.56, P < .001; r = 0.41, P = .01; r = 0.63, P < .001; r = 0.39, P = .02; and r = -0.36, P = .02, respectively) (Table 3).

In the BRVO group, there were significant correlations between the vitreous fluid level of sVEGFR-2 and the levels of sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 (r = 0.76, P < .001; r = 0.63, P < .001; r = 0.69, P < .001; and r = 0.66, P < .001; respectively) (**Table 4**). There were also significant correlations between the vitreous fluid level of VEGF and the levels of sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PEDF in the BRVO group (r = 0.34, P = .03; r = 0.41, P = .01; r = 0.46, P = .004; and r = -0.33, P = .04, respectively) (Table 4). Furthermore, there was a significant correlation between the vitreous fluid level of sICAM-1 and the levels of IL-6, MCP-1, and PTX3 (r = 0.63, P < .001; r = 0.66, P < .001; and r = 0.64, P < .001, respectively) (Table 4). Moreover, there was a significant correlation between the vitreous fluid level of IL-6 and the levels of MCP-1 and PTX3 (r = 0.70, P < .001; and r = 0.65, P < .001, respectively) (Table 4), as well as a significant correlation between MCP-1 and PTX3 or PEDF (r = 0.53, P < .001; and r = -0.39, P = .02, respectively) (Table 4). In contrast, there was no significant correlation between the vitreous levels of sVEGFR-2 and VEGF (r = 0.14, P = .38) or between the vitreous levels of VEGF and PTX3 in the BRVO group (r = 0.23, P = .19)(Table 4). There were also no significant correlations between the vitreous level of PEDF and the levels of sVEGFR-2, sICAM-1, IL-6, and PTX3 in the BRVO group (r = -0.12, P = .44; r = 0.03, P = .87; r = -0.10, P = .52; andr = 0.04, P = .82, respectively) (Table 4).

In the BRVO group, the vitreous fluid levels of VEGF, IL-6, and MCP-1 were significantly higher (all P < .001) than the plasma levels of these molecules (18.1 pg/mL [15.6-44.1], 0.59 pg/mL [0.35-0.98], and 142 pg/mL [117-167], respectively), whereas the vitreous levels of sVEGFR-2, sICAM-1, and PTX3 were significantly lower (all P < .001) than their plasma levels (6750 pg/mL [5895-8245], 423 ng/mL [332-508], and 3.66 ng/mL [2.66-5.11], respectively).

### COMMENT

There were 3 main findings in this study. First, vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1,

and PTX3 were significantly higher in patients with BRVO and macular edema than in controls with MH. Second, vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, PTX3, and PEDF were also correlated with the retinal thickness at the central fovea. Finally, there were significant correlations among the vitreous fluid levels of sICAM-1, IL-6, MCP-1, PTX3, and sVEGFR-2 in the BRVO group, as well as among the vitreous levels of sICAM-1, IL-6, MCP-1, PEDF, and VEGF.

These findings suggest that not only VEGF but also VEGFR-2, ICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 may play important roles in the occurrence of macular edema associated with BRVO. Vascular endothelial growth factor has a potent influence on vascular permeability, and its production is upregulated by retinal hypoxia in patients with BRVO and macular edema.8 Breakdown of the BRB and retinal vascular hyperpermeability are important pathophysiologic features of macular edema associated with BRVO, and there is evidence that inflammation is a key mediator of both endothelial cell damage and BRB breakdown.5-7 Upregulation of inflammatory factors, including VEGF, VEGFR-2, ICAM-1, IL-6, and MCP-1, as well as increased rolling and adhesion of leukocytes, is observed before and during the increase in retinal permeability.5-7 Leukocyte recruitment is modulated by PTX3 in inflammation, 34 so its upregulation could also lead to an increase in vascular permeability.24 This possibility is supported by the report24 that the response of vascular permeability is less marked in PTX3-deficient mice. Thus, interactions among the network of inflammatory factors evaluated here may enhance vascular permeability. Activation of ICAM-1 and the subsequent increase in leukocyte-endothelial adhesion may be essential for VEGF to induce vascular hyperpermeability5 because blocking ICAM-1 activity almost completely prevents VEGFinduced leukostasis and BRB breakdown.35 However, blocking VEGF activity in the diabetic retina markedly reduces the upregulation of ICAM-1 as well as the increase in leukocyte adhesion and BRB breakdown. 36 These findings suggest that VEGF is the key factor mediating the response to hypoxia in the retina.

Interestingly, we found a significant correlation between the vitreous fluid level of sVEGFR-2 and the levels of various inflammatory factors (sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3) in patients with BRVO and macular edema, but there was no significant correlation between the vitreous fluid levels of sVEGFR-2 and VEGF. Binding of VEGF to VEGFR-2 triggers a signaling cascade that results in tyro-

sine phosphorylation of phospholipase Cy, 37-39 which in turn increases the intracellular levels of inositol 1,4,5triphosphate and diacylglycerol. Inositol 1,4,5triphosphate increases the intracellular calcium level by promoting efflux of calcium from the endoplasmic reticulum. This increase in intracellular calcium stimulates sphingosine kinase to produce sphingosine 1-phosphate, 40 which then activates protein kinase C (PKC). Activated phospholipase Cy also activates PKC by increasing the level of diacylglycerol, and activated PKC is a strong activator of nuclear factor к B (NF-кВ). 41 There is ample evidence that NF-кВ promotes the transcription of inflammatory factors (including ICAM-1, IL-6, and MCP-1). 42-47 Nuclear factor-kB is found in almost all cell types and is involved in cellular responses to stimuli such as stress, proinflammatory gene expression (including cytokines, adhesion molecules, and chemokines), free radicals, UV irradiation, and bacterial or viral antigens in addition to its central role in the immune response. 48-50 It has also been reported 51-54 that VEGF, via the VEGFR-2-PKC axis, induces the production of proinflammatory cytokines (including IL-6 and MCP-1) in endothelial cells. Thus, VEGF promotes the expression of inflammatory factor messenger RNAs (including ICAM-1, IL-6, and MCP-1), mainly through the activation of PKC and NF-kB, indicating that VEGF induces the expression of inflammatory proteins by vascular endothelial cells through binding to VEGFR-2. This is supported by reports53,55,56 that a specific VEGFR-2 antagonist blocks VEGF-induced expression of inflammatory factors (including ICAM-1, IL-6, and MCP-1) and also blocks activation of NF-kB by VEGF. Expression of the PTX3 gene also requires the activation of NF-kB.57 In addition, Souza et al24 reported that NF-kB activation was significantly suppressed in PTX3-deficient mice. Taken together with our results, these reports suggest that the vitreous level of sVEGFR-2 influences various inflammatory factors (including ICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3) in patients with BRVO and macular edema. On the other hand, the vitreous level of sVEGFR-2 may be regulated independently of VEGF, although the VEGF-VEGFR-2 signaling pathway is considered essential for controlling vascular permeability.  $^{58.59}$  The VEGF is upregulated by hypoxia through hypoxia-inducible factor  $1\alpha$ ,  $^{60}$  which is another transcription factor that regulates genes responding to hypoxia.61 Vascular endothelial growth factor may act via an independent pathway to promote the retinal changes that occur in BRVO; therefore, additional studies are required to identify the mechanism. Differences in the activation of various transcription factors may determine the severity of ocular ischemic and inflammatory changes

Considering our results, as well as the balance between VEGF and inflammatory cytokines, we should select treatment with anti-VEGF agents (to reduce the level of free VEGF) or triamcinolone acetonide (with a broad spectrum of action, as appropriate). Because the aqueous level of VEGF is significantly correlated with the vitreous level of VEGF, 62 measuring the concentrations of various molecules in aqueous humor by enzyme-linked immunosorbent assay or multiplex bead analysis could help with the selection of treatment between anti-VEGF agents, triamcinolone acetonide, or combined therapy. In addition, upregulation of inflammatory factors may

be dependent on VEGFR-2 because there were significant correlations between the vitreous fluid level of sVEGFR-2 and the vitreous levels of 4 inflammatory factors (sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3) in our patients with BRVO and macular edema. Accordingly, multiple inflammatory factors could be inhibited by an antibody targeting VEGFR-2, so it may be worth also considering anti–VEGFR-2 therapy to treat macular edema in this population. However, a prospective clinical trial would be required to investigate the efficacy of such therapy.

This study also had some other limitations. For example, it is unclear from our data whether elevated vitreous levels of cytokines and chemokines were related to increased retinal vascular permeability or local production in the retina, but the mechanism involved may be revealed by animal studies.

In the present study, the vitreous fluid levels of sVEGFR-2, VEGF, sICAM-1, IL-6, MCP-1, PTX3, and PEDF were strongly correlated with retinal vascular permeability and the severity of macular edema. The sVEGFR-2 level was significantly correlated with the levels of sICAM-1, IL-6, MCP-1, and PTX3 but not with the level of VEGF. These findings suggest the importance of investigating relationships among VEGF and the cytokine network and may contribute to understanding the mechanism of macular edema in patients with BRVO and developing new treatments.

Submitted for Publication: May 9, 2012; final revision received July 20, 2012; accepted July 24, 2012.

Correspondence: Hidetaka Noma, MD, Department of Ophthalmology, Yachiyo Medical Center, Tokyo Women's Medical University, 477-96, Owada-shinden, Yachiyo, Chiba 276-8524, Japan (noma-hide@umin.ac.jp).

Author Contributions: Dr Noma had full access to all the data in the study and takes responsibility for the integrity of the data and the accuracy of the data analysis. Conflict of Interest Disclosures: None reported.

Additional Contributions: Katsunori Shimada, PhD (Department of Biostatistics, Statz Corporation, Tokyo), provided assistance with the statistical analysis.

### REFERENCES

- Tsujikawa A, Ogura Y, Hiroshiba N, Miyamoto K, Kiryu J, Honda Y. In vivo evaluation of leukocyte dynamics in retinal ischemia reperfusion injury. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 1998;39(5):793-800.
- Scott IU, Ip MS, VanVeldhuisen PC, et al; SCORE Study Research Group. A randomized trial comparing the efficacy and safety of intravitreal triamcinolone with standard care to treat vision loss associated with macular edema secondary to branch retinal vein occlusion: the Standard Care vs Corticosteroid for Retinal Vein Occlusion (SCORE) study report 6. Arch Ophthalmol. 2009;127(9):1115-1128.
- Miyake K, Miyake T, Kayazawa F. Blood-aqueous barrier in eyes with retinal vein occlusion. Ophthalmology. 1992;99(6):906-910.
   Noma H, Funatsu H, Mimura T, Eguchi S, Shimada K. Visual prognosis and vit-
- Noma H, Funatsu H, Mimura T, Eguchi S, Shimada K. Visual prognosis and vitreous molecules after vitrectomy for macular edema with branch retinal vein occlusion. Clin Ophthalmol. 2011;5:223-229.
- Lu M, Perez VL, Ma N, et al. VEGF increases retinal vascular ICAM-1 expression in vivo. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 1999;40(8):1808-1812.
   Zhang SX, Wang JJ, Gao G, Shao C, Mott R, Ma JX. Pigment epithelium—derived
- Zhang SX, Wang JJ, Gao G, Shao C, Mott R, Ma JX. Pigment epithelium—derived factor (PEDF) is an endogenous antiinflammatory factor. FASEB J. 2006;20 (2):323-325.
- Yoshimura T, Sonoda KH, Sugahara M, et al. Comprehensive analysis of inflammatory immune mediators in vitreoretinal diseases. PLoS One. 2009;4(12): e8158. doi:10.1371/journal.pone.0008158.
- 8. Noma H, Minamoto A, Funatsu H, et al. Intravitreal levels of vascular endothelial growth factor and interleukin-6 are correlated with macular edema in branch reti-

- nal vein occlusion. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2006;244(3):309-315.
- Noma H, Funatsu H, Mimura T, Harino S, Eguchi S, Hori S. Pigment epithelium-derived factor and vascular endothelial growth factor in branch retinal vein occlusion with macular edema. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2010;248
- 10. Noma H, Funatsu H, Mimura T, Eguchi S, Hori S. Soluble vascular endothelial growth factor receptor-2 and inflammatory factors in macular edema with branch retinal vein occlusion. Am J Ophthalmol. 2011;152(4):669-677.e1. doi:10.1016 i.aio.2011.04.006.
- 11. Kaneda S, Miyazaki D, Sasaki S, et al. Multivariate analyses of inflammatory cytokines in eyes with branch retinal vein occlusion: relationships to bevacizumab treatment. Invest Ophthalmol Vis Sci. 2011;52(6):2982-2988.
- 12 Peri G. Introna M. Corradi D. et al. PTX3, a prototypical long pentraxin, is an early indicator of acute myocardial infarction in humans. Circulation. 2000;102(6):
- 13. Latini R, Maggioni AP, Peri G, et al; Lipid Assessment Trial Italian Network (LATIN) Investigators, Prognostic significance of the long pentraxin PTX3 in acute myo-cardial infarction, *Circulation*, 2004;110(16):2349-2354.
- 14. Breviario F. d'Aniello EM. Golay J. et al. Interleukin-1-inducible genes in endothelial cells: cloning of a new gene related to C-reactive protein and serum amyloid P component. J Biol Chem. 1992;267(31):22190-22197.
- Garlanda C, Bottazzi B, Bastone A, Mantovani A. Pentraxins at the crossroads between innate immunity, inflammation, matrix deposition, and female fertility, Annu Rev Immunol. 2005;23:337-366.
- 16. Alles VV, Bottazzi B, Peri G, Golay J, Introna M, Mantovani A. Inducible expression of PTX3, a new member of the pentraxin family, in human mononuclear phagocytes. Blood. 1994;84(10):3483-3493.
- 17. Introna M. Alles VV. Castellano M. et al. Cloning of mouse ptx3, a new member of the pentraxin gene family expressed at extrahepatic sites. Blood. 1996;87
- Goodman AR, Levy DE, Reis LF, Vilcek J. Differential regulation of TSG-14 expression in murine fibroblasts and peritoneal macrophages. J Leukoc Biol. 2000; 67(3):387-395
- 19. Doni A, Peri G, Chieppa M, et al. Production of the soluble pattern recognition receptor PTX3 by myeloid, but not plasmacytoid, dendritic cells. Eur J Immunol. 2003;33(10):2886-2893.
- 20. Klouche M, Peri G, Knabbe C, et al. Modified atherogenic lipoproteins induce expression of pentraxin-3 by human vascular smooth muscle cells. Atherosclerosis. 2004:175(2):221-228.
- 21. Toniatti C, Demartis A, Monaci P, Nicosia A, Ciliberto G. Synergistic transactivation of the human C-reactive protein promoter by transcription factor HNF-1 binding at two distinct sites. *EMBO J.* 1990;9(13):4467-4475.
- 22. Pepys MB, Hirschfield GM. C-reactive protein: a critical update. J Clin Invest. 2003; 111(12):1805-1812.
- 23. Souza DG, Soares AC, Pinho V, et al. Increased mortality and inflammation in tumor necrosis factor-stimulated gene-14 transgenic mice after ischemia and reperfusion injury. *Am J Pathol.* 2002;160(5):1755-1765.

  24. Souza DG, Amaral FA, Fagundes CT, et al. The long pentraxin PTX3 is crucial for
- tissue inflammation after intestinal ischemia and reperfusion in mice. Am J Pathol. 2009;174(4):1309-1318.
- 25. Branch Vein Occlusion Study Group. Argon laser photocoagulation for macular
- edema in branch vein occlusion. *Am J Ophthalmol.* 1984;98(3):271-282.

  26. Otani T, Kishi S. Tomographic assessment of vitreous surgery for diabetic macular edema. Am J Ophthalmol. 2000;129(4):487-494.
- 27. Saika S, Tanaka T, Miyamoto T, Ohnishi Y. Surgical posterior vitreous detachment combined with gas/air tamponade for treating macular edema associated with branch retinal vein occlusion: retinal tomography and visual outcome. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 2001;239(10):729-732.
- 28. Stefánsson E, Novack RL, Hatchell DL. Vitrectomy prevents retinal hypoxia in branch retinal vein occlusion. Invest Ophthalmol Vis Sci. 1990;31(2):284-289.
- 29. Stefánsson E. Ocular oxygenation and the treatment of diabetic retinopathy. Surv Ophthalmol. 2006;51(4):364-380.

  30. Okunuki Y, Usui Y, Katai N, et al. Relation of intraocular concentrations of in-
- flammatory factors and improvement of macular edema after vitrectomy in branch retinal vein occlusion. Am J Ophthalmol. 2011;151(4):610-616.e1. doi:10.1016 /j.ajo.2010.09.030.
- 31. Yamamoto S, Saito W, Yagi F, Takeuchi S, Sato E, Mizunoya S. Vitrectomy with or without arteriovenous adventitial sheathotomy for macular edema associated with branch retinal vein occlusion. Am J Ophthalmol. 2004;138(6):907-914.
- 32. Kumagai K, Furukawa M, Ogino N, Uemura A, Larson E. Long-term outcomes of vitrectomy with or without arteriovenous sheathotomy in branch retinal vein occlusion. *Retina*. 2007;27(1):49-54.

  33. Funatsu H, Noma H, Mimura T, Eguchi S, Hori S. Association of vitreous inflam-
- matory factors with diabetic macular edema. Ophthalmology. 2009;116(1):
- Deban L, Russo RC, Sironi M, et al. Regulation of leukocyte recruitment by the long pentraxin PTX3. *Nat Immunol.* 2010;11(4):328-334.
   Miyamoto K, Khosrof S, Bursell SE, et al. Vascular endothelial growth factor (VEGF)—
- induced retinal vascular permeability is mediated by intercellular adhesion molecule-1 (ICAM-1). Am J Pathol. 2000;156(5):1733-1739.

- 36. Ishida S, Usui T, Yamashiro K, et al. VEGF164 is proinflammatory in the diabetic retina. Invest Ophthalmol Vis Sci. 2003;44(5):2155-2162.
- 37. Xia P. Aiello LP, Ishii H, et al. Characterization of vascular endothelial growth factor's effect on the activation of protein kinase C, its isoforms, and endothelial cell growth. J Clin Invest. 1996;98(9):2018-2026.
- He H, Venema VJ, Gu X, Venema RC, Marrero MB, Caldwell RB. Vascular endothelial growth factor signals endothelial cell production of nitric oxide and prostacyclin through flk-1/KDR activation of c-Src. J Biol Chem. 1999;274(35): 25130-25135
- 39. Wu LW, Mayo LD, Dunbar JD, et al. Utilization of distinct signaling pathways by receptors for vascular endothelial cell growth factor and other mitogens in the induction of endothelial cell proliferation. J Biol Chem. 2000;275(7):5096-
- 40. Olivera A, Edsall L, Poulton S, Kazlauskas A, Spiegel S. Platelet-derived growth factor-induced activation of sphingosine kinase requires phosphorylation of the PDGF receptor tyrosine residue responsible for binding of PLCy. FASEB J. 1999: 13(12):1593-1600.
- Ghosh S, Baltimore D. Activation in vitro of NF-kB by phosphorylation of its inhibitor IkB. Nature. 1990;344(6267):678-682.
- Matsusaka T, Fujikawa K, Nishio Y, et al. Transcription factors NF-IL6 and NF-KB synergistically activate transcription of the inflammatory cytokines, interleukin 6 and interleukin 8. *Proc Natl Acad Sci U S A*. 1993;90(21):10193-10197.
- 43. Ledebur HC, Parks TP. Transcriptional regulation of the intercellular adhesion molecule-1 gene by inflammatory cytokines in human endothelial cells: essential roles of a variant NF-icB site and p65 homodimers. J Biol Chem. 1995;270 (2):933-943
- Wrighton CJ, Hofer-Warbinek R, Moll T, Eytner R, Bach FH, de Martin R. Inhibition of endothelial cell activation by adenovirus-mediated expression of IkBo. an inhibitor of the transcription factor NF-kB. J Exp Med. 1996;183(3):1013-
- 45. Baldwin AS Jr. The NF-kB and IkB proteins: new discoveries and insights. Annu Rev Immunol. 1996;14:649-683.
- Marumo T, Schini-Kerth VB, FissIthaler B, Busse R. Platelet-derived growth factorstimulated superoxide anion production modulates activation of transcription factor NF-kB and expression of monocyte chemoattractant protein 1 in human aortic smooth muscle cells. Circulation. 1997;96(7):2361-2367.
- 47. Boyle EM Jr, Kovacich JC, Canty TG Jr, et al. Inhibition of nuclear factor-KB nuclear localization reduces human E-selectin expression and the systemic inflammatory response. *Circulation*. 1998;98(19)(suppl):II282-II288.
- Barnes PJ, Karin M. Nuclear factor-kB: a pivotal transcription factor in chronic inflammatory diseases. N Engl J Med. 1997;336(15):1066-1071.
- Ghosh S, May MJ, Kopp EB. NF-kB and Rel proteins: evolutionarily conserved mediators of immune responses. Annu Rev Immunol. 1998;16:225-260.
- 50. Perkins ND. Integrating cell-signalling pathways with NF-κB and IKK function. Nat Rev Mol Cell Biol. 2007;8(1):49-62.
   51. Carnevale KA, Cathcart MK. Protein kinase C β is required for human monocyte
- chemotaxis to MCP-1. J Biol Chem. 2003;278(28):25317-25322.
- 52. Hong KH, Ryu J, Han KH. Monocyte chemoattractant protein-1-induced angiogenesis is mediated by vascular endothelial growth factor-A. Blood. 2005;105 (4):1405-1407.
- 53. Koga J, Matoba T, Egashira K, et al. Soluble Flt-1 gene transfer ameliorates neointima formation after wire injury in flt-1 tyrosine kinase-deficient mice. Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2009;29(4):458-464.
- Hao Q, Wang L, Tang H. Vascular endothelial growth factor induces protein kinase D-dependent production of proinflammatory cytokines in endothelial cells. Am J Physiol Cell Physiol. 2009;296(4):C821-C827. Kim I, Moon SO, Kim SH, Kim HJ, Koh YS, Koh GY. Vascular endothelial growth
- factor expression of intercellular adhesion molecule 1 (ICAM-1), vascular cell adhesion molecule 1 (VCAM-1), and E-selectin through nuclear factor-kB activation in endothelial cells. J Biol Chem. 2001;276(10):7614-7620.
- Yao JS, Zhai W, Young WL, Yang GY. Interleukin-6 triggers human cerebral endothelial cells proliferation and migration: the role for KDR and MMP-9. Biochem Biophys Res Commun. 2006;342(4):1396-1404.
- Basile A, Sica A, d'Aniello E, et al. Characterization of the promoter for the human long pentraxin PTX3: role of NF-κB in tumor necrosis factor-α and interleukin-1β regulation. J Biol Chem. 1997;272(13):8172-8178.
- Ferrara N, Davis-Smyth T. The biology of vascular endothelial growth factor. Endocr Rev. 1997;18(1):4-25.
- Claesson-Welsh L. Signal transduction by vascular endothelial growth factor receptors. *Biochem Soc Trans.* 2003;31(pt 1):20-24.
- Forsythe JA, Jiang BH, Iyer NV, et al. Activation of vascular endothelial growth factor gene transcription by hypoxia-inducible factor 1. Mol Cell Biol. 1996; 16(9):4604-4613.
- Pagès G, Pouysségur J. Transcriptional regulation of the vascular endothelial growth factor gene—a concert of activating factors. Cardiovasc Res. 2005;65(3):564-
- 62. Noma H, Funatsu H, Yamasaki M, et al. Aqueous humour levels of cytokines are correlated to vitreous levels and severity of macular oedema in branch retinal vein occlusion. Eye (Lond). 2008;22(1):42-48.

